



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日 東

上場会社名 株式会社エイジス 上場取引所
 コード番号 4659 URL <https://www.ajis.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 昭生
 問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長 (氏名) 西本 敬 (TEL) 043-350-0567
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	18,243	△1.1	1,469	△35.1	1,577	△32.6	985	△30.6
2022年3月期第3四半期	18,454	△6.6	2,264	△26.9	2,340	△27.2	1,418	△31.9

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,124百万円(△25.9%) 2022年3月期第3四半期 1,517百万円(△30.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	117.01	—
2022年3月期第3四半期	168.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	24,602	21,540	86.7
2022年3月期	24,440	21,099	85.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 21,330百万円 2022年3月期 20,891百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	80.00	80.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△0.7	2,700	△31.4	2,790	△31.0	1,800	△20.0	213.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) AJIS USA, Inc. 、除外 1社(社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	10,771,200株	2022年3月期	10,771,200株
2023年3月期3Q	2,349,015株	2022年3月期	2,354,237株
2023年3月期3Q	8,419,255株	2022年3月期3Q	8,415,139株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月1日から2022年12月31日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続くなか、国内における行動制限の緩和や訪日外国人の入国制限の見直しなどにより社会経済活動が正常化に向かう動きは見られたものの、急激な円安の進行や長期化するロシア・ウクライナ情勢に起因する資源・原材料価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客であります小売業界におきましても、インバウンド需要の回復が期待される一方、資源価格の高騰や生活必需品の物価上昇による消費者の節約志向の高まりなど、業界を取り巻く環境は厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループは成長戦略として、チェーンストア産業を変革する新たな価値を創造するために「棚卸会社からリテイルサービス会社への事業転換」「グループの柱となる新たな事業の創出」「展開地域をアジアから世界へ拡大」を中期方針として掲げ、事業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高18,243百万円(前年同四半期比1.1%減)、営業利益1,469百万円(前年同四半期比35.1%減)、経常利益1,577百万円(前年同四半期比32.6%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益985百万円(前年同四半期比30.6%減)となりました。

セグメントごとの業績は、以下の通りであります。

I 国内棚卸サービス

国内棚卸サービスは、新規案件の獲得や実施店舗数の増加など売上増加要因はありましたが、一部顧客における商品在庫数量の減少および実施回数の変更、料率の見直しなどの影響により、減収となりました。

営業利益では、従業員の待遇改善による賃金の増加に加え、エネルギー価格の高騰などによる経費の増加、売上減少の影響により、減益となりました。売上高は10,758百万円(前年同四半期比4.7%減)、セグメント利益は1,142百万円(前年同四半期比32.9%減)となりました。

II リテイルサポートサービス

リテイルサポートサービスは、自治体の要請による飲食店を対象とした営業状況調査は終了となりましたが、商品補充サービスおよび店舗改装サービスにおいて既存顧客からの受注店舗数が回復傾向で推移したことにより、売上高は微増となりました。

営業利益では、従業員の待遇改善による賃金の増加に加え、受注体制の構築に係る費用により、減益となりました。売上高は5,859百万円(前年同四半期比0.4%増)、セグメント利益は431百万円(前年同四半期比44.7%減)となりました。

III 海外棚卸サービス

海外棚卸サービスは、中国のゼロコロナ政策の影響により進出地域において事業活動の縮小を余儀なくされましたが、東アジア地域での既存顧客からの受注店舗数の増加、アセアン地域での行動制限の緩和による受注回復に加え、為替変動の影響もあり、増収となりました。

営業利益では、東アジア地域およびアセアン地域における売上の回復に伴い、損失額は減少しました。売上高は1,625百万円(前年同四半期比22.5%増)、セグメント損失は161百万円(前年同四半期は231百万円のセグメント損失)となりました。

当社グループの売上高の特徴として、国内棚卸サービスの閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は減少し、国内の主要な顧客であります流通小売業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が増加する傾向があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は24,602百万円(前連結会計年度比0.7%増)となりました。これは、主として現金及び預金が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,061百万円(前連結会計年度比8.3%減)となりました。これは、主として法人税の納付による未払法人税等の減少および賞与の支払により賞与引当金が減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は21,540百万円(前連結会計年度比2.1%増)となりました。これは、主として親会社株主に帰属する四半期純利益獲得により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の業績経過は、当初計画を下回る推移となっております。現時点での通期業績予測につきましては、2022年9月30日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載の業績予測と変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,416,705	15,586,540
売掛金	3,834,272	2,777,615
有価証券	600,542	600,016
貯蔵品	39,696	42,202
その他	295,825	241,250
流動資産合計	19,187,042	19,247,625
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,276,394	1,276,394
その他(純額)	524,955	482,132
有形固定資産合計	1,801,350	1,758,526
無形固定資産		
のれん	49,424	28,242
その他	252,195	248,677
無形固定資産合計	301,620	276,920
投資その他の資産		
投資有価証券	2,645,974	2,803,258
その他	504,169	515,799
投資その他の資産合計	3,150,143	3,319,057
固定資産合計	5,253,114	5,354,504
資産合計	24,440,157	24,602,130
負債の部		
流動負債		
短期借入金	108,546	164,572
1年内返済予定の長期借入金	3,577	1,432
未払金	1,980,558	1,912,888
未払法人税等	219,066	102,788
賞与引当金	394,603	216,627
役員賞与引当金	7,870	5,902
その他	557,405	583,913
流動負債合計	3,271,629	2,988,126
固定負債		
長期借入金	534	-
退職給付に係る負債	7,040	8,827
その他	60,993	64,861
固定負債合計	68,568	73,689
負債合計	3,340,198	3,061,815

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	471,408	474,817
利益剰余金	23,614,380	23,926,172
自己株式	△3,727,600	△3,718,070
株主資本合計	20,833,188	21,157,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,438	56,067
為替換算調整勘定	△5,135	116,041
その他の包括利益累計額合計	58,302	172,109
非支配株主持分	208,467	210,285
純資産合計	21,099,958	21,540,314
負債純資産合計	24,440,157	24,602,130

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	18,454,943	18,243,397
売上原価	12,721,479	13,356,232
売上総利益	5,733,464	4,887,164
販売費及び一般管理費	3,469,408	3,417,545
営業利益	2,264,055	1,469,619
営業外収益		
受取利息	24,992	23,890
受取配当金	5,630	5,144
受取賃貸料	15,733	18,287
業務受託料	-	6,127
為替差益	12,693	24,500
物品売却益	632	9,290
補助金収入	7,351	14,676
その他	19,140	22,038
営業外収益合計	86,174	123,955
営業外費用		
支払利息	1,729	1,023
賃貸費用	7,820	9,202
業務受託費用	-	3,849
その他	528	2,133
営業外費用合計	10,077	16,208
経常利益	2,340,152	1,577,366
特別損失		
固定資産除却損	116	1,741
投資有価証券売却損	-	4,130
特別損失合計	116	5,872
税金等調整前四半期純利益	2,340,036	1,571,494
法人税等	833,478	560,125
四半期純利益	1,506,558	1,011,368
非支配株主に帰属する四半期純利益	87,665	26,219
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,418,892	985,149

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,506,558	1,011,368
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,593	△7,370
為替換算調整勘定	33,179	120,712
その他の包括利益合計	10,585	113,341
四半期包括利益	1,517,143	1,124,710
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,429,750	1,098,955
非支配株主に係る四半期包括利益	87,393	25,754

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間より、新たに設立したAJIS USA, Inc. を連結の範囲に含めています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	11,291,510	5,836,582	1,326,850	18,454,943
セグメント間の内部売上高又は振替高	56,332	40,624	—	96,957
計	11,347,843	5,877,206	1,326,850	18,551,901
セグメント利益又は損失(△)	1,701,661	780,284	△231,465	2,250,480

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,250,480
セグメント間取引消去	13,575
四半期連結損益計算書の営業利益	2,264,055

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	国内棚卸サービス	リテイルサポート サービス	海外棚卸サービス	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,758,017	5,859,902	1,625,478	18,243,397
セグメント間の内部売上高又は振替高	58,829	8,704	—	67,534
計	10,816,847	5,868,606	1,625,478	18,310,932
セグメント利益又は損失(△)	1,142,393	431,232	△161,674	1,411,952

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,411,952
セグメント間取引消去	57,667
四半期連結損益計算書の営業利益	1,469,619

以 上